

稚内南小学校だより「まこと」



第6号

■発行日 令和8年8月31日

■発行者 稚内市立稚内南小学校

■TEL0162-23-3329 FAX22-7924

■HP:

<https://wakkanai-minami-e.edumap.jp/>

■QRコード



9月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1日	火	平和記念式典（書記局参加） 二計測（1・2年）水泳学習（3年）
2日	水	知能検査（1・3・5年） 二計測（きりり）水泳学習（2年） 平和学習（6年）
3日	木	短縮日課 1日防災学校（1, 2, 3, 6年）
4日	金	遠足（1・3・4年）水泳学習（5年）
7日	月	活動委員会 写真学習プログラム（5年）
8日	火	水泳学習（6年）
9日	水	短縮日課 水泳学習（4年）
10日	木	水泳学習（5年）
11日	金	遠足（2年） 遠足予備日（1・3・4年）
15日	火	短縮日課 水泳学習（3年） 図書館見学（2年）
16日	水	水泳学習（1年）全校集会
17日	木	修学旅行（～18日）
21日	月	敬老の日
22日	火	国民の休日
23日	水	秋分の日
24日	木	道路を守る車見学会（1, 2年） 木育学習（5年）
29日	火	短縮日課 宿泊学習（～30日）
30日	水	6－1カーリング授業

学校評価アンケート（前期）について

1学期にお願いした学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。前期学校評価アンケートについて分析し、2学期以降の改善ポイント（改善策）をお知らせします。

1. 成果:あきらめずに挑戦する心が大きく伸びています！

児童アンケートにおいて、「失敗しても繰り返し挑戦する（52.0%／+12.4pt）」や「長い文章問題にあきらめず取り組む（53.5%／+8.9pt）」の割合が大幅に増加しました。授業でのめあて（目標）を明確にする指導の成果が、子どもたちの「粘り強さ」として表れてきています。

また、保護者アンケートでは「自分の長所を理解し発揮している（78.8%／+11.4pt）」や「進んで運動している（77.9%／+8.4pt）」が大きく向上しました。さらに、「分かる授業づくり（92.0%）」や「保護者への相談対応（90.2%）」等、学校の取り組みに対して9割を超える高い信頼をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

○アンケート主要データの比較表 児童・保護者の成果項目(R7 後期 → R8 前期)

対象	設問項目	R7 後期	R8 前期	変化	指導の成果・評価
児童	失敗しても繰り返し挑戦する	39.6%	52.0%	+12.4pt	困難に向き合う粘り強さが大幅向上
児童	長い文章問題にあきらめず取り組む	44.6%	53.5%	+8.9pt	根気強く考え抜く力が定着
児童	授業等のやるべきこと・目標が明確	39.9%	47.5%	+7.6pt	見通しをもたせる指導の成果
保護者	子どもが自分の長所・短所を理解している	67.4%	78.8%	+11.4pt	自己理解・自己肯定感を育む指導の成果
保護者	進んで体を動かして遊んだり運動している	69.5%	77.9%	+8.4pt	外遊び奨励や体育指導の成果

主な課題項目(否定評価・低下率が高いもの)

対象	設問項目	否定率・変化	課題の背景と要因
児童	外国語がよく分かる	▼12.3pt	内容の高度化による理解度の落ち込み
保護者	自主的・計画的に家庭学習を行っている	42.0%	全 15 項目中最も低く、進め方に不安を抱える
教職員	小中連携(算数・数学の授業改善)	57.1%	視点の共有や具体的実践の不足
教職員	社会に開かれた教育課程(アイデア出し)	52.1%	地域連携・外部活用の具体的な発出の難しさ

2. 今後の課題と 2 学期(後期)の取組

結果を分析したところ、学校とご家庭が連携して取り組むべき主な課題として以下の点をあげました。

① 自主的な家庭学習の習慣化

現状：学校で粘り強さが身についてきた一方、「家で計画を立てて勉強する(児童 27.2%)」や「自主的な家庭学習(保護者否定層 42.0%)」に不安や課題がみられます。

学校の取組：単に宿題を出すだけでなく、授業などで「ノートの書き方」や「タブレットでの調べ方」など“自学のやり方”を具体的に体験させます。

② 心理的な安心感とあたたかいコミュニケーション

現状：「安心して発表できる(児童 30.3%)」や「相手の立場を考えた言葉づかい(保護者肯定層 71.7%)」に改善の余地があります。

学校の取組：「間違いを恐れず安心して発表できる」学級風土づくりのため、話し合い活動の充実や、縦割り班活動等の全校での活動を推進してまいります。

③ 教科のつまづきフォローと学習の広がり

現状：内容が高度化する一部教科(外国語・理科等)での理解度維持や、地域と連携した学習の可視化が求められています。

学校の取組：わかりやすいスモールステップでの指導や小中連携によるサポートを強化します。また、地域での体験学習等の取り組みの様子を、学校ホームページや学校だより、ICT 等を通じてより積極的にお伝えしていきます。

前期の成果を糧にしつつ、2学期以降も「仲間とともに自立する子どもの育成」を目指し、学校づくりを教職員一丸となって進めてまいります。今後の取組についても学校だよりに載せていきます。

引き続き、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(詳しくは学校ホームページに載せてありますのでご覧ください)